



ヘリコプター離発着の可能性がある広場
災害時には、ヘリコプターの離発着場所として使用される可能性がある広場です。



かまどベンチ

普段はベンチですが、災害時には座る部分を外して、「かまど」として炊き出しなどに用いることができます。



マンホール型災害用トイレ

災害時には、マンホールの蓋を外してテントを設置することにより仮設トイレとして使用することができます。



(災害時)



災害救援自動販売機

災害時、一定の条件が揃った時に飲料を無償提供する機能が備わった自動販売機です。



広域避難場所表示灯



防災用照明灯 (ソーラー照明灯)



給水活動スペース

水道が被害を受けた場合に、応急給水活動を行うための施設です。



災害用掲示板

災害時には、掲示板として使用することができます。



(災害時)



緊急車両出入口



AED

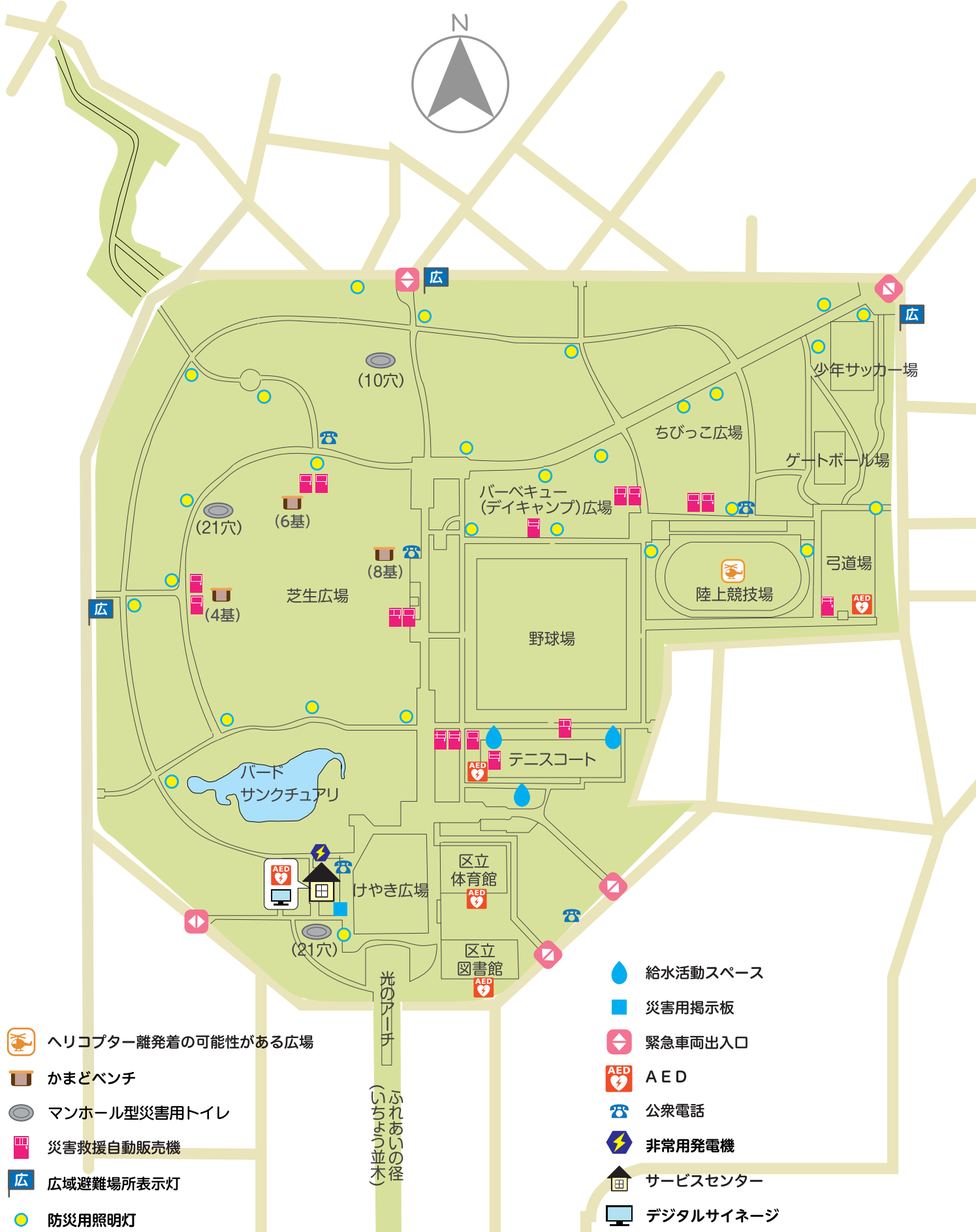
マンホール型災害用トイレ		かまどベンチ	災害救援自動販売機	AED
箇所数	穴数	基	箇所数	台数
3	52	18	10	5



東京都公園協会ホームページ「防災公園を知ろう」
URL: <https://www.tokyo-park.or.jp/special/bousai/>



光が丘公園の防災施設マップ



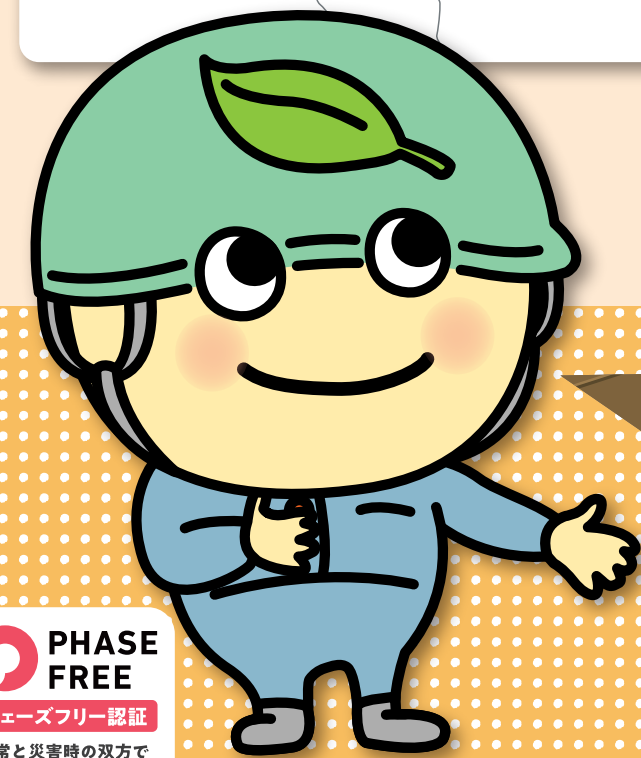
- ヘリコプター離発着の可能性がある広場
- かまどベンチ
- マンホール型災害用トイレ
- 災害救援自動販売機
- 広域避難場所表示灯
- 防災用照明灯

- 給水活動スペース
- 災害用掲示板
- 緊急車両出入口
- AED
- 公衆電話
- 非常用発電機
- サービスセンター
- デジタルサイネージ

わたしたちの防災力 発行日：令和7年3月 光が丘公園サービスセンター 〒179-0072 東京都練馬区光が丘4-1-1 ☎ 03-3977-7638
発行：公益財団法人 東京都公園協会 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア9・10F ☎ 03-3232-3171

あたしたちの防災力

光が丘公園



都立公園の多くは、発災時には避難場所や、救出・救助部隊のヘリコプターが離発着する広域防災拠点としての役割を果たします。
その中でも、区部・多摩地域において大きな被害が想定される地域に近接し、自衛隊をはじめとする救出・救助部隊のヘリポートやベースキャンプなどの活動スペースの確保が可能な都立公園が「大規模救出・救助活動拠点候補地」に指定されています。
これらの公園は、発災時に自衛隊、消防、警察等の広域支援・救助部隊が、被災者の救出及び救助活動を行う拠点として活用できるよう整備されています。
(公財)東京都公園協会は、東京都や地元区市等と連携し、これら防災上重要な役割をもつ公園の機能を十分発揮できるよう日頃から防災対応力の向上に取り組んでいます。



光が丘公園の防災上の取り組み

災害時や緊急時に備え、防災対応力の強化と普及啓発に取り組み、安全・安心な公園づくりを進めています。

■ 災害時のヘリコプター活動拠点の確保

災害時の緊急ヘリポートの確保は光が丘公園の大きな役割の 1 つです。
ヘリコプター活動拠点には、陸上競技場が想定されており、関係機関と連携を進めるとともに訓練を行っています。



ヘリポート確保訓練
(ラインマーカーでヘリポートマーク（H マーク）を描く訓練）



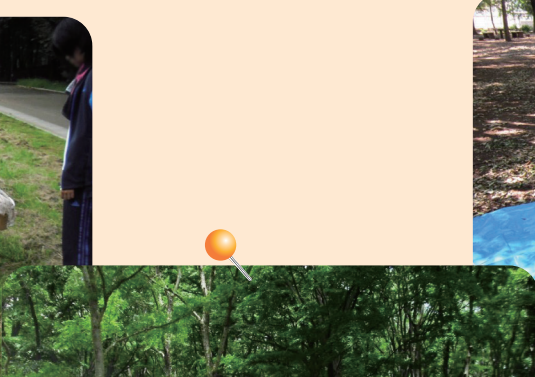
ヘリコプター離発着の様子
(消防訓練)

■ 避難場所としての取り組み・地域との連携関係の構築

発災時の延焼火災などから身を守る避難場所としての機能を発揮するため、公園近隣の住民の皆さまや地元の消防署等との訓練を実施し、地域との連携強化を図っています。



近隣看護学校との合同防災訓練



災害時支援ボランティアとの訓練



近隣企業との
合同防災訓練



トピックス

貯水量約20万トン配水池・ 東京都水道局との給水訓練

光が丘公園の地下には、練馬給水所の巨大な配水池があります。約 20 万トンの水を蓄えており、災害時対応として常時 3 分の 1 の水道水が確保されています。光が丘公園では東京都水道局と連携し、給水活動スペースにて給水栓組立て訓練を行い、災害時の対応力強化を図っています。



■ 防災意識の普及

イベントや防災訓練において、防災関連プログラムを実施し、来園者の方の防災意識の普及啓発を図っています。楽しみながら、防災を学んでいただけるよう、様々な工夫をしています。



防災ショールーム
の展示パネル



近隣町会、学校、ボランティア等多くの参加者と実施した共助訓練



■ 震災に備えた職員の対応力向上の取り組み

光が丘公園では、発災に備え、防災無線使用訓練や AED 訓練のほか、様々な時間帯（早朝、日中、夜間）を想定した職員の震災対応訓練を実施しています。



職員による心肺蘇生訓練



発災時に備えた
週 1 回の防災
無線通信訓練



夜間の訓練



災害対策備品

防災保管庫にとりまとめサービスセンターに備え付けています。

■ 防災士などの有資格者の配置

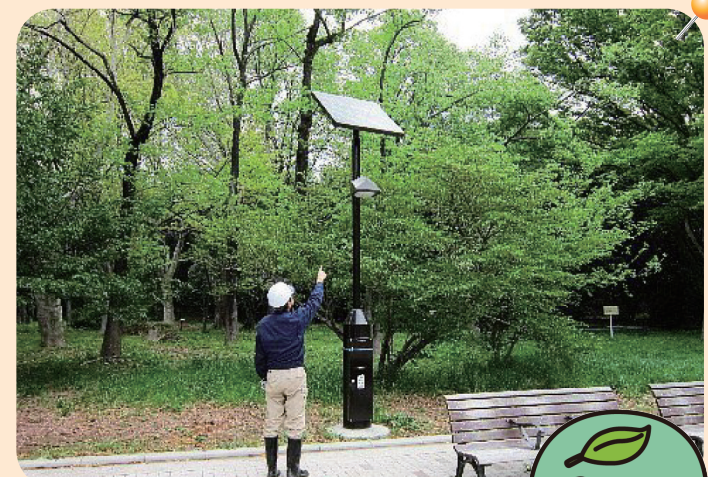
災害時の安全確保に向けて、防災士の計画的な配置をはじめとして、職員の救命救急講習や A E D 取扱い講習の推進を図っています。



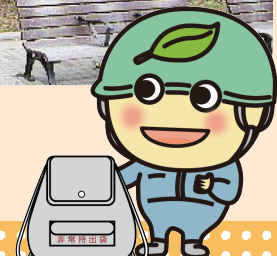
職員による防災設備説明
防災士のほか、応急手当普及員、上級救急救命技能認定者も在籍しています。

■ 防災施設の定期点検

いざというときに公園にある様々な防災施設（設備）の機能を十分に発揮できるよう、定期的な点検を実施しています。



防災用照明灯の点検



知っていますか？ 「自助」「共助」「公助」

「自助」：災害時、自分自身や家族の身を守ること
「共助」：地域の人々など、人と人々が共に助け合い、救護活動等を行うこと
「公助」：自治体や、警察・消防・自衛隊などの公的機関が災害支援活動を行うこと

ぼく、ともすけ。
ぼくの名前は、
共助からきているんだよ



■ 防災関連パンフレットの配布

園内の防災関連施設の紹介や情報発信を目的として、公園ごとの「わたしたちの防災力」を配布しています。また、防災意識啓発の一環として、「防災公園ハンドブック」を作成しています。

